

めざせリサイクル

RECYCLE



ペットボトル再商品化の...



スチール缶

アル

中沼資源選別センターをくまなく案内してくれたのは大澤郁夫さん。大澤さんの作業着はペットボトルのリサイクル製品。説明を聞いたお母さんは、「資源ゴミを出すとき、すすいで出していて良かった。工場の悪臭の原因なんですね」と、納得したようです。

人の達人 親子で工場見学



8月9日、経済産業省北海道経済産業局の主催により、「夏休み！リサイクル工場親子見学バスツアー」が開催されました。

17組の親子が、びん・缶・ペットボトルの選別、テレビ・冷蔵庫などの家電の再資源化、また、今年は初めて自動車の解体作業も見学しました。

ゴミの山は宝の山とのこと。限りある資源を賢く使い、地球温暖化の防止にも役立つよう、身近なところから正しく取り組もうと改めて感じた1日です。てきぱき作業するリサイクル工場の皆さんが、とても頼もしく見えました。

表紙：みるみる解体される自動車。グシャッという音に思わず「おお」と声
が上がる。お母さんにしっかりつかまる児童も。新しい車にリサイク
ルされたら、また、みんなで乗ってね。

目次：昨年に引き続き、液晶テレビの解体を親子で体験。お母さんによると、
「普段から何でも分解しています」。どおりで、あっという間に液晶パ
ネル、金属、プラスチック、配線チューブなどがバラバラに。ねじ1
本も見逃さない手際の良さでした。ゆいと君は「とても楽しかった。
家のテレビもやってみたい」そうです。

裏表紙：中央操作室では、集められたびん・缶・ペットボトルが順序よく安全
に選別処理される様子を確認できる。私たちが缶やペットボトルを潰
して出すと、風力で選別する機械のところでごめんね。